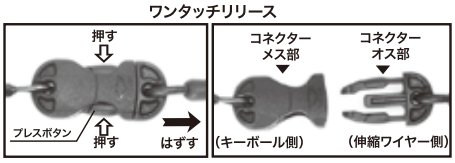
5 使用方法

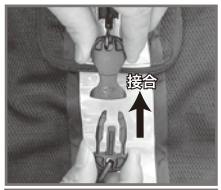
5-1 ヒットエアージャケットと伸縮ワイヤーの接続

ワンタッチリリースについて

ヒットエアーには、バイクへの乗降時に簡単に取付け、取外しできるワンタッチリリースが必要となります。

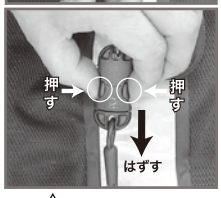


ワンタッチリリースとは、バイクの所定の位置に取付けた伸縮ワイヤーと、ヒットエアーの起動装置キーボックスにセットされたキーボールと接合するパーツです。



乗車時

走行するために接続するには、バイクに股がってから、ワンタッチリリース(コネクター)のメス部の両端を持ちながらオス部を挿入させ、「カチッ」という挿入音を確認して下さい。



降車時

バイクから降りる際には、ワンタッチリリース(コネクター)のプレスボタン(両側)を押して外してからバイクをお降り下さい。

注意 1.乗降時・走行時にワンタッチリリース(コネクター)などがバイクのタンク各部位に接触し、傷つく場合があります。
※上記の状況が予想される場合、タンク保護シール等による保護をお勧めします。

注意 2.接合する際は、挿入音もなく不完全に挿入している場合は、外れる事があります。

注意 3.オス部とメス部の挿入がうまく出来ない場合や違和感がある場合は、新しいものにお取り替え下さい。無理に行うと、外せなくなる事や自然に外れる場合があります。

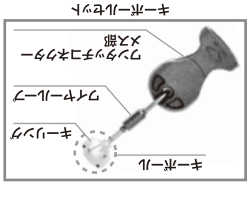
注意 4.降車時に、接続を解除したオス部・伸縮ワイヤーが、エンジン部分やマフラーなどの高温部分に触れると変形や破損の恐れがあります。

警告 5.接続して走行する前に、キーボックスの赤ガードが上(フリーの状態〈P12〉写真2参照)になっている事を確認して下さい。ロックの状態では作動しない事や誤作動・破損する場合があります。

4-4 キーボール

キーボールは、キーボックス内の圧縮バネと針を固定するスプリングと、キーボールが抜けると圧縮バネと針が連動してカートリッジボンベの封板に穴をあけ、エアーバッグ(気室)が膨らみます。

キーボールとキーリングは、一体型のパーツです。



4-5 CO2カートリッジボンベの取扱い

○ カートリッジボンベ内には炭酸ガス(CO2)が充填されています。

○ キーボックスとカキーボールが抜けた際に、圧縮バネが針と連動し、カートリッジボンベの底部(封板)に穴を開けて、カートリッジボンベ内のガスを各気室へ送り込みます。

○ 一度作動(使用)したカートリッジボンベは使用できません。

(使用済カートリッジボンベは底部(封板)に穴が開いています)

未使用の新しいカートリッジボンベとお取り替えて下さい。

○ カートリッジボンベをキーボックスに取付ける際に、ねじ込みが足りないとガスボンベ底部(封印板)に届かず作動しない場合や、作動してエアーバッグが膨らんでも数秒後に萎れてゆっくり膨らむ様な誤作動の原因になります。

カートリッジボンベの取付けは、必ず根元までねじ込んでご使用下さい。

下記の注意事項を守って下さい。破裂の危険性があります。

警告 1. カートリッジボンベは、40℃以下で使用及び、保管して下さい。
(高温となる車中などでの保管はおやめください。)

警告 2. カートリッジボンベに強い衝撃を与えないで下さい。

警告 3. カートリッジボンベを加熱しないで下さい。

警告 4. カートリッジボンベの外面をヒビまたはいて下さい。ヒビ等が発生した場合は新しいものとお取り替えて下さい。

警告 5. 使用済のカートリッジボンベはガスがはいっていない事を確認してから廃棄して下さい。

警告 6. カートリッジボンベを切断したり、穴を開けるなどの行為はおやめて下さい。

警告 7. モデル指定のサイズ(容量)をご使用下さい。
モデル指定のサイズ(容量)を使用下さい。交換の際は必ず
不明な場合は、当社ホームページの「交換用ボンベサイズ表」を参照下さい。
www.hit-air.com

注意 8. ヒットエアー以外の用途で使用しないで下さい。

注意 9. ヒットエアーカートリッジボンベ以外は使用できません。

注意 10. 子供の手の届かない所でご使用、保管して下さい。

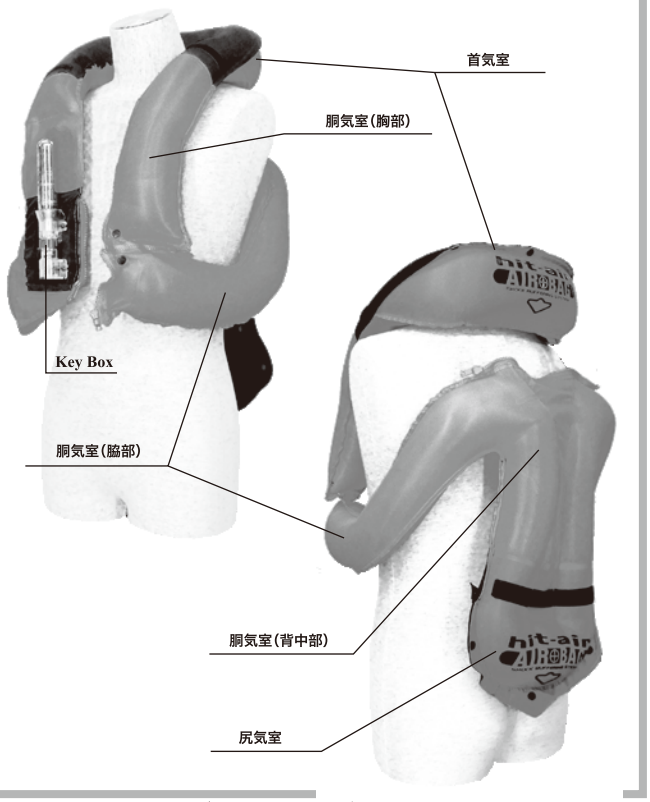
注意 11. 通常時(使用時)は、セットしたカートリッジボンベを回して緩めたり外したりしないでください。

注意 12. 再生作業等でカートリッジボンベを外した場合、カートリッジボンベをキーボックスに取付ける際、根元までしっかりねじ込んで下さい

ヒットエアーインナーシステムが膨らんだ状態

作動の際、首気室は瞬時に膨らみ起き上がり、尻気室は下へ開きます。
胴気室はウェア内部でこの様な形状で膨らみます。

ヒットエアーシステムをウェアから分離した場合、ウェア側には膨らむ装置機能はありません。また、ヒットエアーシステム単体での使用は出来ません。



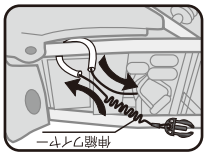
※モデルによって異なる場合があります

5-3 伸縮ワイヤー取付方法・位置

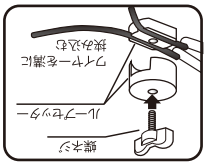
伸縮ワイヤーの取付方法

1 プレヘルプロテクター チューブを巻き付け長さを調節し、余った部分はカットします。

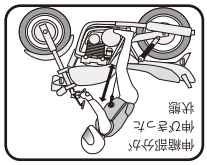
2 プロテクターチューブに伸縮ワイヤーを通します。



3 プロテクターチューブからはだしたワイヤーをレーブでヤーの長さを調節します。

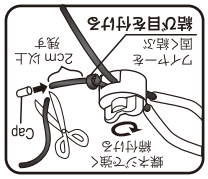


4 パイプに股がりスライディング姿勢で、伸縮ワイヤーが伸びった状態で長さを決めます。



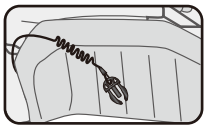
5 レーブセッターでしっかり固定し、余ったワイヤーの根元を固く結び、2cm以上残した状態でカットし、先端にキャップをします。

結び目はワイヤーを抜けなくするためのストッパーの役割をします



必ず結ぶ
1. 輪を作り
2. 輪に通す
3. 固く結ぶ
キャップ
2cm以上残す
隙間なく

6 シートをかぶせて完成です。



取付け位置 A：シートをかしたプロテクター内部レール部分
B：右側に露出した固定可能なフレーム部分

注意 **伸縮ワイヤーは、運転動作の妨げになるような場所、バイクに損傷を及ぼす場所、引っ張られた際に外れたり抜けたりする場所、エンジンやマフラーなどの高温近辺への取付けはおやめください。**